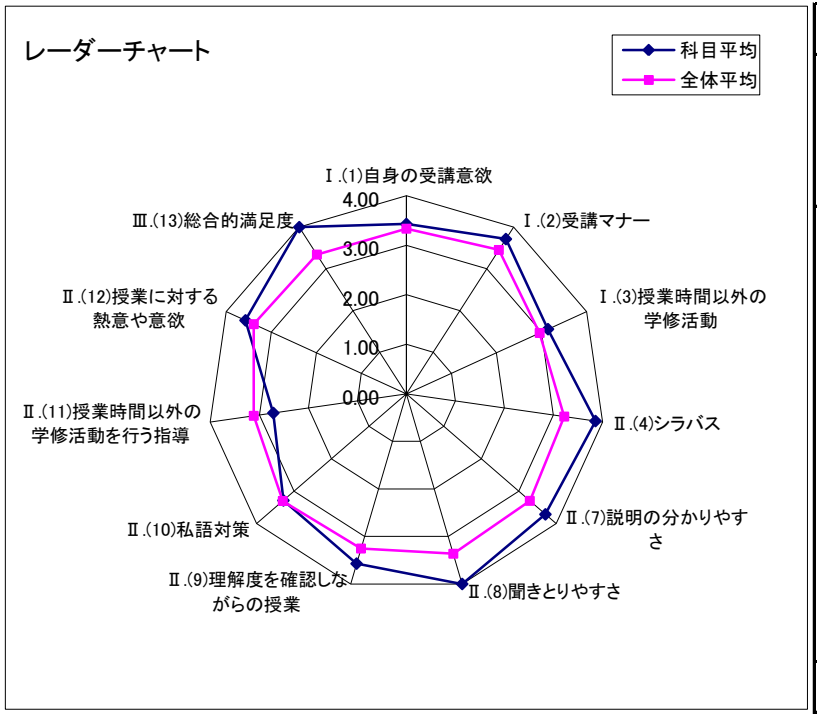
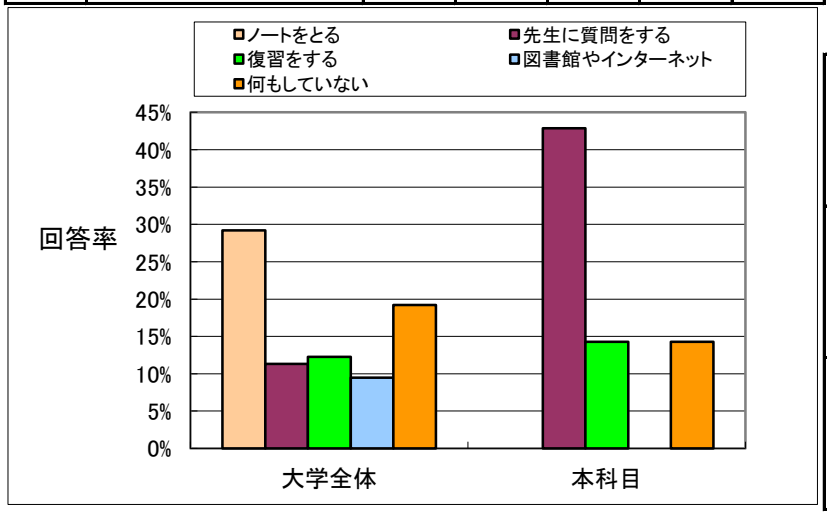
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.43	3.33
	Ⅰ.(2)	3.71	3.45
	Ⅰ.(3)	3.14	2.96
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.86	3.22
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.71	3.30
	Ⅱ.(8)	4.00	3.36
	Ⅱ.(9)	3.57	3.25
	Ⅱ.(10)	3.29	3.30
	Ⅱ.(11)	2.71	3.11
	Ⅱ.(12)	3.57	3.39
総合評価	Ⅲ.(13)	4.00	3.34

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

<※複数選択可項目>		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(14)	授業を理解するための工夫	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.43	3.25
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(12)	3.53	3.28
総合評価 Ⅲ.(13)	4.00	3.34

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度　後期
時間割番号	5233
科目名	ITリテラシーⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業計画(シラバス)にそって講義を進めることができた。難易度に関しては、事前の経験チェックによる習熟度別のクラス分けになっている。しかし、習熟度別のクラスにおいても学生により習熟度のばらつきがあると考えられるので(難易度のアンケート結果:ほぼ適当な難易度となっている。)、個別の対応(質疑応答は高い結果となっている。)が必要と考えている。また、シラバスの講義内容は、役立っているとの評価が最も高い結果となっており、今後もできるだけ、現状を維持できるようにしたい。

②授業の進め方について

該当する項目は、ほぼ全体平均より高い値となっており、その結果は、総合評価にも現れている。具体的な項目としては、説明のわかりやすさや聞き取りやすさの項目に関しては、大きく全体平均より高い値となっており、今後もできるだけ、現状を維持できるようにしたい。また、上記と同様に習熟度別のクラスにおいても学生により習熟度のばらつきがあると考えられるので検討を要すると考えている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

ほぼ全ての項目で全体平均を上回る高い数値となっている。習熟度のばらつきに関しては、個別の対応等、例えば、「先生に質問する」の割合が高いが、さらなる向上を行って行きたい。また、講義内容等の理解に関しては、シラバスを詳細に説明し、また、授業時間以外の学習活動をできるだけ行うような向上策を考え、できるだけ現状の数値を向上できるように努めたい。

奈良産業大学